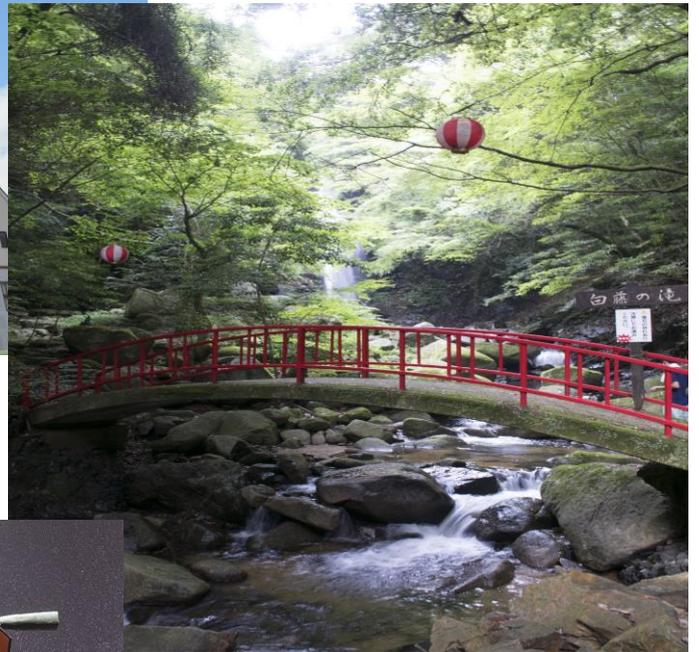


2019（令和元）年度版

# 伊賀市の 予算と財政状況



# もくじ

予算とは？	1
伊賀市の会計規模	2
一般会計歳入予算	3
一般会計歳出予算	4
今年度の主な事業	6
伊賀市の財政状況	20

※本冊子掲載の予算については、3月市議会定例会で可決された2019（令和元）年度一般会計予算、補正予算第1号及び第2号を合計した数字です。

# 予算とは？ Q&A

## Q1 予算って何ですか？

A1 予算とは1年間の収入と支出を見積もることです。

- ・新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。

## Q2 予算はどうやって決まるのですか？

A2 市長のつくった予算案が、市議会の審議をへて議決により予算として成立します。

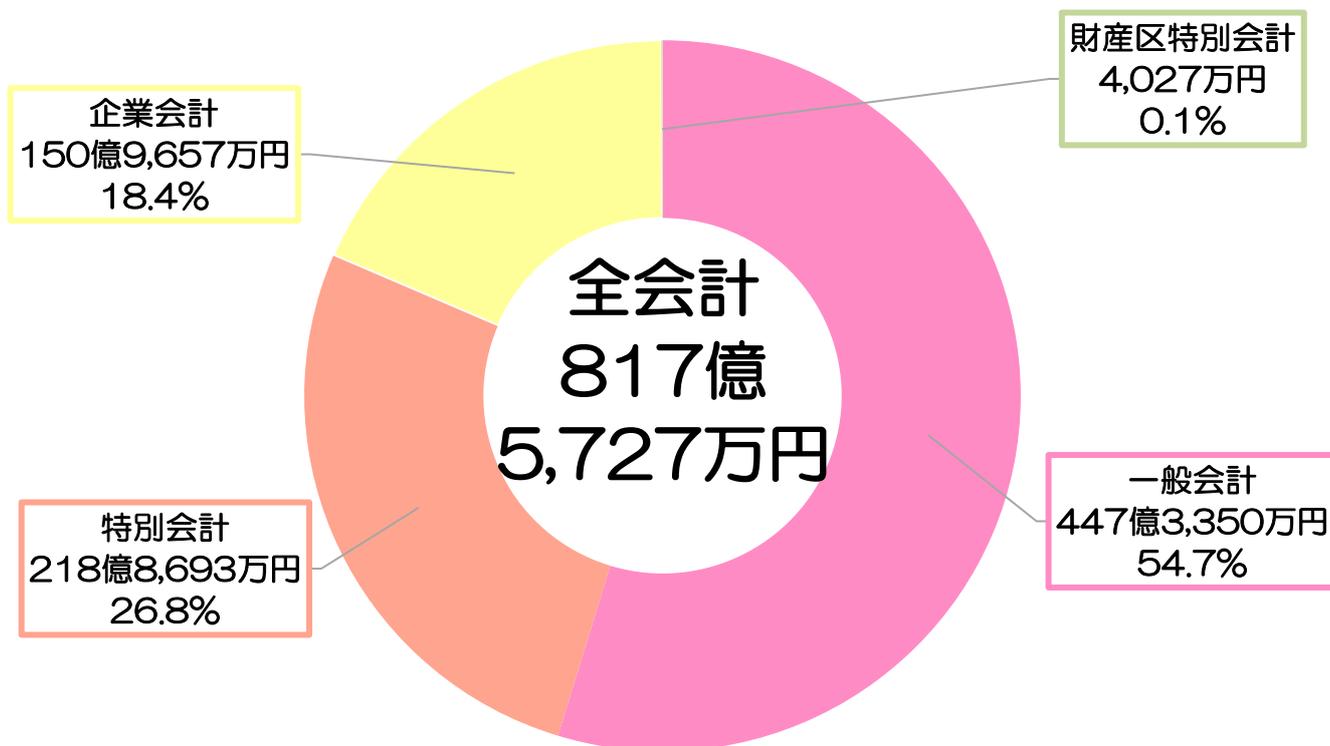
- ・市役所のそれぞれの担当部署が、総合計画や各種計画に基づき作成した案に、市民のみなさんの意見や要望を取り入れ「1年間の行政サービス」を検討します。市長は各担当部署の案をもとに自分の考え方を加えて予算案としてまとめ、市議会に提案します。
- ・市民を代表する市議会は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで議決により予算を決めます。

## Q3 一度決めた予算は、変えられないの？

A3 変えられます。その予算を補正予算といいます。

- ・市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

# 伊賀市の会計規模

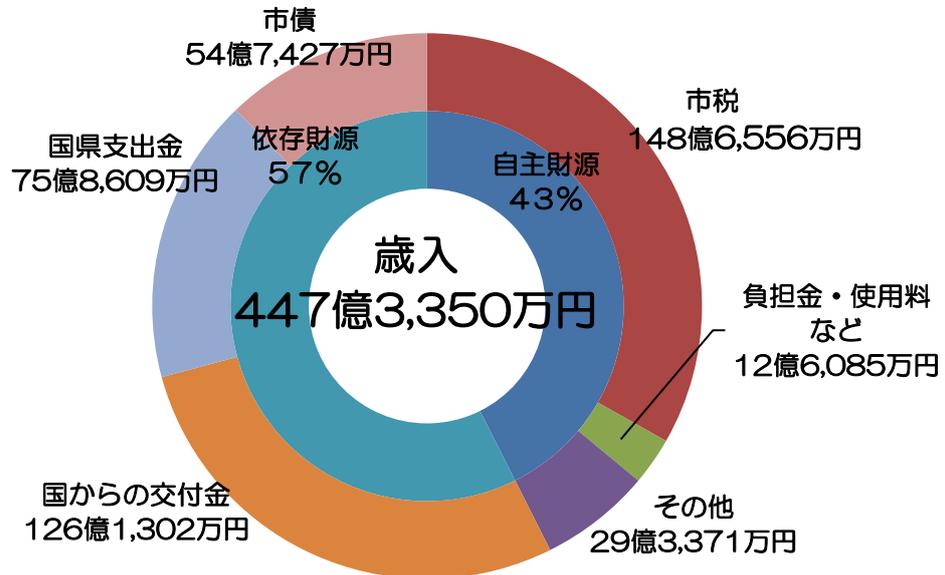


一般会計	教育、福祉や道路・公園の整備など基礎的な行政サービスを行う会計。
特別会計 (6会計)	特定の事業を特定の収入によって行い、その収支を一般会計から切り離して経理する会計。 伊賀市には、国民健康保険事業など6つの特別会計があります。
企業会計 (3会計)	民間企業と同じように事業で収益をあげて運営している会計。 伊賀市には、病院事業、水道事業、下水道事業の3つの企業会計があります。
財産区特別会計 (2会計)	財産区の財産を管理運営するための会計。 伊賀市には、島ヶ原財産区と大山田財産区の2つの特別会計があります。

## 財産区とは…

山林などの財産を保有しており、地方自治法により法人格が認められた「特別地方公共団体」です。なお、財産区の権限は、財産又は公の施設の管理及び処分又は廃止に限られているため、市のように広範囲で事務を処理することはできません。

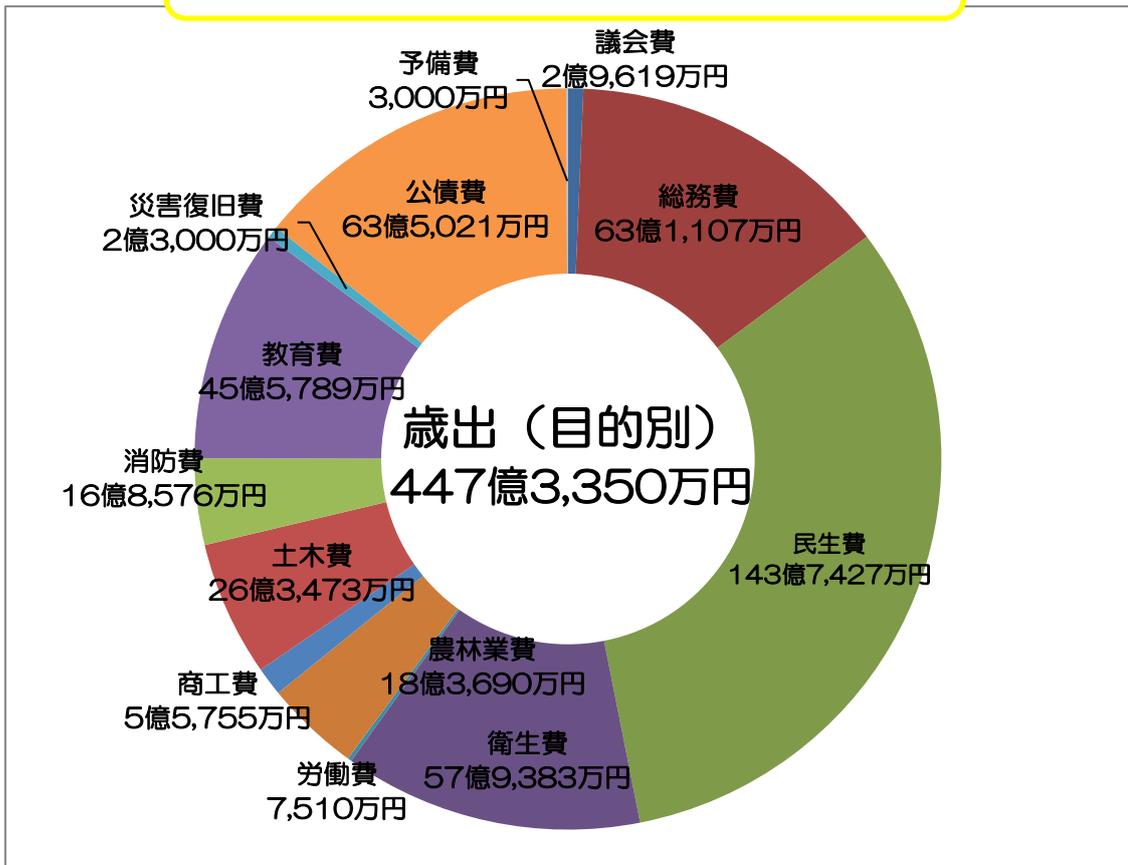
## 一般会計歳入予算



自主財源	市が自主的に収入できるお金。
市税	みなさんから納めていただいた税金。
負担金・使用料など	市が行う事業に対する負担金や使用料。
その他	基金繰入金やその他の諸収入など。
依存財源	国や県からもらう交付金などの収入。
市債	道路・公園、市の施設などをつくるために借り入れるお金。
国・県支出金	みなさんが国や県に納める税金の一部で、使いみちが決められています。
国からの交付金	みなさんが国や県に納める税金の一部で、地方交付税や地方譲与税などとして交付されます。使いみちは自由です。

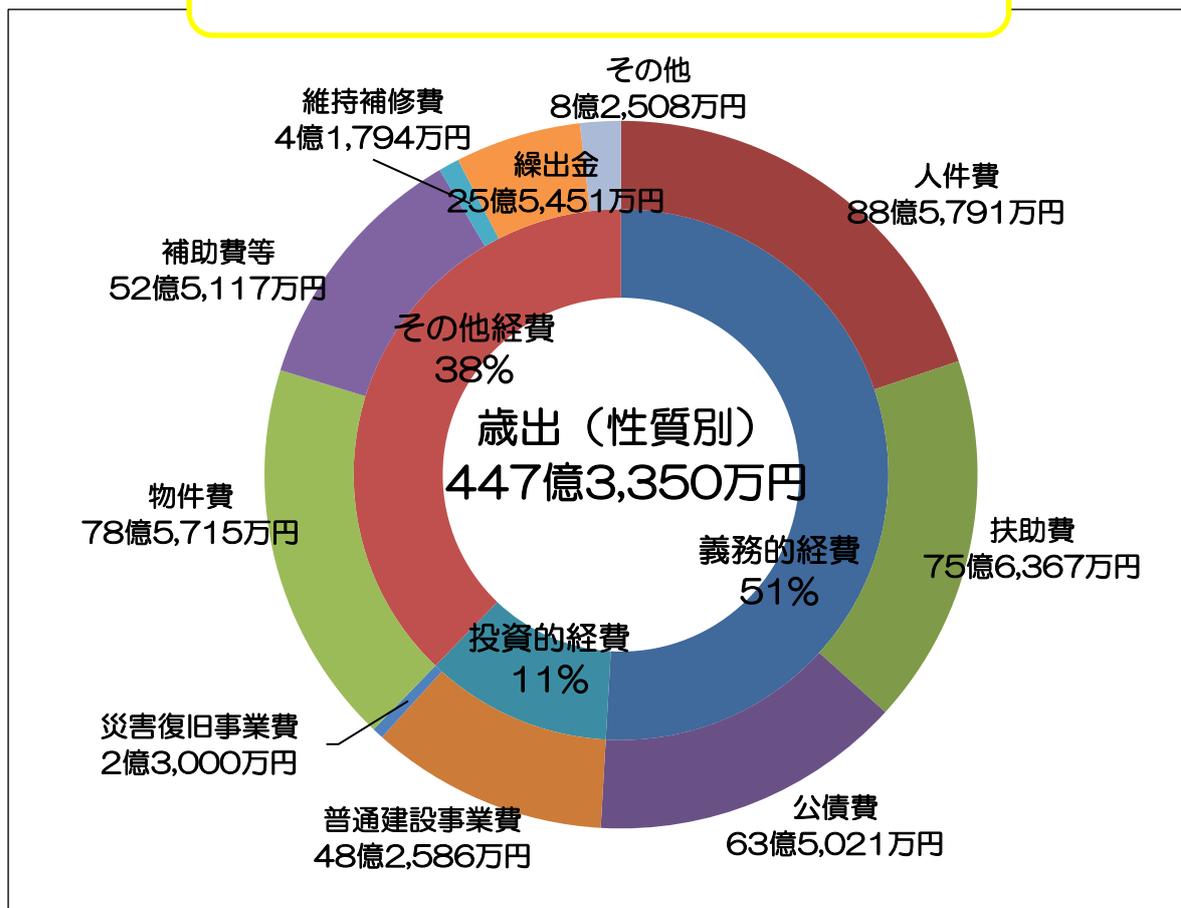
一般財源	市が自由に使いみちを決められるお金。 例) 市税、地方交付税など
特定財源	使いみちがあらかじめ決められているお金。 例) 国・県支出金、市債など

# 一般会計歳出予算



議会費	議会運営にかかる経費。
総務費	庁舎管理やシステム保守、地域振興や住民自治などの経費。
民生費	福祉全般にかかる経費。市の事業の中で最も割合が大きい経費です。
衛生費	環境対策や清掃事業、地域医療、健康推進などにかかる経費。
労働費	地元の雇用促進にかかる経費。
農林業費	農業や林業にかかる経費。
商工費	商工業や観光振興にかかる経費。
土木費	道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設事業にかかる経費。
消防費	消防活動等にかかる経費。
教育費	市立の小中学校や幼稚園の管理、文化財、スポーツ振興にかかる経費。
災害復旧費	台風などの災害により破損した道路などの復旧にかかる経費。
公債費	市債の償還や利子にかかる経費。
予備費	台風や大雪などの予測できない事態で、緊急に支出が必要になるための経費。

# 一般会計歳出予算



人件費	市長や職員、議員や各種委員、嘱託職員や消防団員の報酬。
扶助費	児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対して市が行う支援にかかる経費。
物件費	行政運営上必要な経費、旅費、賃金、光熱水費、通信運搬費、施設維持に係る委託料など。
補助費等	各種団体への助成、負担金などにかかる経費。
維持補修費	庁舎や公園、道路などの公共施設の維持補修にかかる経費。
投資的経費	市が行う建設事業と災害復旧にかかる経費。
投資・出資・貸付金	県との協調融資の原資や他会計への出資、貸付金などの経費。
積立金	市の貯金である「基金」への積立金。
繰出金	一般会計と特別会計、又は特別会計間において支出される経費。

※義務的経費…人件費、扶助費、公債費は地方公共団体の義務的経費といわれ、支出が義務づけられているものや任意に削減しにくい硬直性の高い経費です。これらが歳出予算に占める割合が低いほど健全な財政であるとされています。

# 2019（令和元）年度予算 伊賀流 “元気・にぎわいづくり” 予算

本予算は、中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、改善が“まったなし”となっている次の項目について、第2次伊賀市総合計画第2次再生計画に掲げる横断的な取り組み「ええやん！伊賀プロジェクト」や「伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進めつつ事業を重点化し、速やかに各種事業に取り組むこととしています。

## にぎわいの創出

### 空家等対策推進事業経費 1億995万円



空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、特定空家等への措置を行います。また、空家などを適切に管理し、利活用を促進するよう啓発を行います。

財源内訳：国の負担額 4,887万円

市の負担額 6,108万円

担当課：空き家対策室

### 忍者市プロジェクト事業 3,098万円



「忍びの里伊賀甲賀忍者協議会」や「日本忍者協議会」などと連携し、「忍者市」伊賀市ならではの観光誘客、情報発信に取り組みます。

財源内訳：国の負担額 1,347万円

市の負担額（市債を含む）1,751万円

担当課：観光戦略課

## 街なみ環境整備事業

2億6,941万円



社会資本総合整備計画に基づき、城下町の回遊性向上のため中心市街地の基盤づくりを推進します。成瀬平馬家長屋門の保存修理工事などを実施し、住環境整備を図ります。また、「うえのまちづくり協議会」の運営活動に対して助成を行います。

財源内訳：国の負担額 1億3,015万円

市の負担額（市債を含む）1億3,926万円

担当課：中心市街地推進課、都市計画課

## 中心市街地活性化事業

993万円



中心市街地の活性化が伊賀市全体のにぎわい創出へと波及することを目指し、中心市街地活性化協議会の支援を行うとともに、第2期中心市街地活性化基本計画の策定及び認定に向け、官民協働で取り組みます。

財源内訳：市の負担額 993万円

担当課：中心市街地推進課

# 災害対策の充実

## 自主防災組織活性化促進事業

103万円



市内自主防災組織が行う自主防災活動へ補助金を交付し、災害時において機能的な活動ができるよう全体的な組織強化を行います。

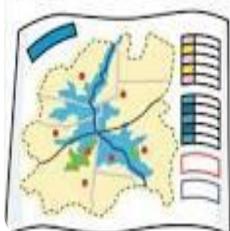
財源内訳：市の負担額 103万円

担当課：総合危機管理課

## 防災ハザードマップ作成推進事業

277万円

### ハザードマップ



土砂災害危険箇所などの情報を地図に表したハザードマップを作成し、対象の市民に配布することにより防災啓発に努めます。

財源内訳：県の負担額 138万円

市の負担額 139万円

担当課：総合危機管理課

## 災害対策本部等運営経費

1,586万円



災害対策本部運営に必要な各種防災システムの維持管理経費、各種訓練経費などです。

財源内訳：市の負担額 1,586万円

担当課：総合危機管理課



## 防災基盤整備事業 1,643万円

119番通報時に通報者の位置を地図上に表示し、発生場所を特定する時間を短縮できる装置を導入し、救命率の向上等を図ります。

財源内訳：市の負担額（市債を含む）1,643万円  
担当課：消防総務課



## 消防操法大会出場経費 395万円

全国女性消防操法大会に出場するための経費です。

財源内訳：市の負担額 395万円  
担当課：消防救急課



## 国補消防施設整備事業 1,300万円

初期消火体制の整備として耐震性防火水槽の未整備地域に計画的な設置を推進し防災体制の強化を図ります。

財源内訳：国の負担額 50万円  
市の負担額（市債を含む）1,250万円  
担当課：消防救急課

# 少子高齢化への対応

## 結婚サポート事業

35万円



伊賀市内で結婚サポート事業（婚活等）を行う団体に対して補助金を支出することにより事業が円滑に実施され、出会い・結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を行います。

財源内訳：市の負担額 35万円

担当課：こども未来課

## 地域福祉施設整備事業

2億1,647万円



旧消防本部庁舎を改修し、地域福祉の機能と勤労者福祉の機能を併せた、（仮称）伊賀市総合福祉会館の整備を行います。

財源内訳：市の負担額（市債を含む）

2億1,647万円

担当課：医療福祉政策課

## 発達支援センター運営事業

3,928万円



子どもの成長発達に不安や悩みを抱えている保護者や関係者からの相談に応じます。

また臨床心理士、言語聴覚士等専門職員の週1回程度のこども発達支援センターへの派遣を受け、保育所（園）・学校等への巡回訪問を行い、保育士、教諭等へその子どもの発達に応じた適切な対応方法について、より専門的かつ具体的な相談・指導を行います。

財源内訳：国の負担額 342万円

県の負担額 171万円

市の負担額（市債を含む）3,415万円

担当課：こども未来課



## 私立保育所施設整備事業

2, 119万円

老朽化が著しいみどり第二保育園の改修を行うことに対して補助を行います。

財源内訳：国の負担額 121万円

市の負担額（市債を含む） 1, 998万円

担当課：保育幼稚園課

## 予防接種業務経費

2億3, 827万円



予防接種法に基づく定期予防接種を行うほか、乳幼児に対するロタウイルスワクチン接種、おたふくかぜ予防接種、妊娠を希望する女性等に対する風しんワクチン接種の費用の一部助成を行います。

財源内訳：県の負担額 450万円

市の負担額 2億3, 377万円

担当課：健康推進課

# 未来を担うこどもの育成

## 施設改修事業（小学校及び中学校）

2億595万円



経年劣化などに伴う、施設などの改修に係る経費です。今年度は、上野西小学校屋内運動場大規模改修工事、青山中学校ランチルーム屋根防水工事などを行います。

財源内訳：国の負担額 4,865万円

市の負担額 1億5,730万円

担当課：教育総務課

## （仮称）長田・新居小学校建設事業

1億3,226万円



2020（令和2）年度の（仮称）長田・新居小学校の開校に向けて、新居小学校屋内運動場、屋外運動場、遊具などの整備を行います。

財源内訳：国の負担額 6,381万円

市の負担額（市債を含む）6,845万円

担当課：教育総務課

## 小学校給食センター建設事業

13億4,748万円



民間活力を導入し、2020（令和2）年度の小学校給食センター開設に向けて事業を行います。

今年度は、配送校配膳室改修工事を行い、小学校給食センター施設の引渡しを受けます。

財源内訳：市の負担額（市債を含む）

13億4,748万円

担当課：教育総務課

## 学力向上推進事業

846万円



学力向上アドバイザーの派遣、標準学力検査の実施等を行い、生徒の実態に即した授業改善やきめ細かい個別指導を実現します。

今年度より実用英語技能検定（英検）を受験する中学生に対して受験料の補助を行い、英語力の強化を図ります。

財源内訳：市の負担額 846万円

担当課：学校教育課

# 活力あるまちづくりへの次世代育成

## 地方創生推進事業 3,636万円



Uターン人材を育成するため市内高等学校と連携し「IGABITO育成ビジョン」に基づく育成コンテンツを実施します。また、伊賀市若者会議の活動を活発化させ地域住民が主体的に活動できる仕組みを構築するとともに、外部人材を有効活用するため関係人口の創出に取り組みます。

財源内訳：国の負担額 1,771万円

市の負担額 1,865万円

担当課：総合政策課

## 移住・交流推進事業 1,880万円



「伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、来たい・住みたい・住み続けたいと思われるまちの実現に向けて、交流人口を増加させ、市外から人を呼び込むための移住・交流事業に取り組みます。

また、地域おこし協力隊を活用し、地域課題の解決や地域振興に取り組みます。

財源内訳：市の負担額 1,880万円

担当課：地域づくり推進課、島ヶ原振興課、  
大山田振興課

## 住民自治協議会推進経費

### 1億7,792万円



伊賀市自治基本条例に基づき、各地域における住民自治協議会の運営及び地域が主体となり取り組むまちづくり事業を支援するため、地域包括交付金を交付し、住民自治活動の推進を図ります。

また、今年度は、「キラッと輝け！地域応援補助金」を創設し、住民自治協議会が地域まちづくり計画に沿って実施する事業を支援します。

財源内訳：市の負担額 1億7,792万円

担当課：地域づくり推進課、各支所振興課

## 畜産振興事業費 1,412万円



近年、肥育用の素牛価格が高騰しており、伊賀牛の生産頭数が年々減少する中、「伊賀牛の増頭に関する検討会議」を設置し、ET事業（受精卵移植事業）の拡大検討を含め、伊賀牛の増頭に向けた検討を生産者・関係者を含めて協議します。

また、伊賀市食肉センター閉鎖に伴う業務や、センター利用者の負担増に対する補助を行います。

財源内訳：国の負担額 50万円

市の負担額 1,362万円

担当課：農林振興課

## 商工振興経費 5,530万円



伊賀市産品及び事業者を伊賀ブランドとして認定し、地域内外に発信することにより、地域づくりと産業の活性化を図ります。

財源内訳：国の負担額 425万円

市の負担額 5,105万円

担当課：商工労働課

## 営業本部活動経費 108万円



伊賀市の「食」「物産」「観光」「産業」及び「それらに関わる人」などの魅力を事業者等と一体となって国内外へ情報発信することで、誘客促進や市産品の販路拡大を図り、「来たい・住み続けたい伊賀市づくり」の一翼を担う取り組みを行います。

財源内訳：国の負担額 49万円

市の負担額 59万円

担当課：商工労働課

## その他主要事業

### 青山複合施設整備事業 4,492万円



伊賀市公共施設最適化計画の第Ⅰ期実行計画に基づき、持続可能な公共サービスの実現に向け、現在分散している青山支所及び周辺施設の複合化整備と現支所等の跡地整備を行います。

財源内訳：市の負担額（市債を含む）4,492万円

担当課：青山振興課

### 芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等

#### 管理運営経費 3,156万円



芭蕉翁記念館、偲翁舎及び蓑虫庵を管理し、松尾芭蕉生誕地として過去から続けられてきた顕彰の取組を継続して実施しています。

また、今年度は、芭蕉翁生家の改修に伴う設計業務を実施します。

財源内訳：国の負担額 159万円

市の負担額（市債を含む）2,997万円

担当課：文化交流課

### ごみ燃料化及び施設維持管理経費

#### 10億7,145万円



さくらリサイクルセンターにおいて、施設に搬入された可燃ごみからRDFを製造するための経費です。9月からRDF搬出を終了し、従前通りごみを搬入し、民間施設へ持ち出すために、ごみ中継施設として使用するための改修工事及び運転維持管理業務、処分業務を新たに委託します。

財源内訳：県の負担額 4,147万円

市の負担額（市債を含む）10億2,998万円

担当課：さくらリサイクルセンター

## 汚泥再生処理センター建設事業

15億5,858万円



伊賀市汚泥再生処理センターの建設工事、設計施工監理業務委託に加えて、試運転に関する業務、第1処理場解体・第2処理場閉鎖に伴う業務、付帯工事を実施します。また、2020（令和2）年度から運転管理業者選定に係る発注支援業務を実施します。

財源内訳：国の負担額 3億1,517万円

市の負担額（市債を含む）12億4,341万円

担当課：浄化センター

## 観光戦略経費

5,560万円



観光振興にかかる経費で、観光施設の維持管理、観光に関する情報発信やイベントを行うとともに、忍者を活かした観光誘客やまちづくりを行います。

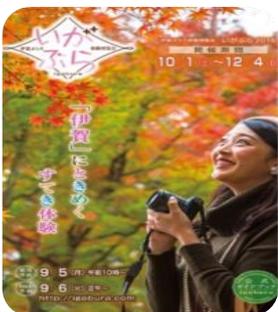
財源内訳：国の負担額 851万円

市の負担額 4,709万円

担当課：観光戦略課

## 着地型観光推進事業経費

1,295万円

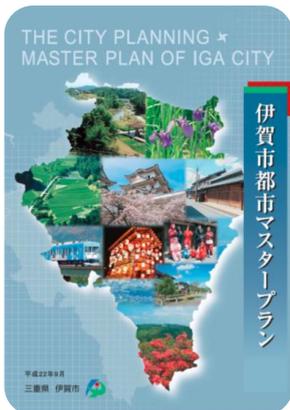


「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら」を継続して開催することにより、地域全体で観光客を受け入れるしくみを作るとともに、観光資源の発掘と指導者となる人材の育成を図ります。

財源内訳：国の負担額 647万円

市の負担額 648万円

担当課：観光戦略課



## 都市計画調査策定等事業 824万円

第2次伊賀市総合計画第2次再生計画等の上位計画に即した長期的な視野に立ったまちづくりの方針を示すため、都市計画法に定められた都市マスタープランを策定します。

財源内訳：市の負担額 824万円

担当課：都市計画課

## 三重国体推進経費 9,016万円



2021（令和3）年に開催する「三重とわか国体」の事業推進のため設置されている伊賀市実行委員会を運営します。

今年度は市民へ周知のための啓発を更に進め、デモンストレーションスポーツ及び国体ダンスの普及に努めるとともに、2020（令和2）年度に開催するリハーサル大会に向け、準備を進めます。

財源内訳：県の負担額 7,658万円

市の負担額 1,358万円

担当課：国体推進課

## 体育施設維持管理経費

### 1億2,530万円



伊賀市民体育館、上野運動公園競技場、しらさぎ運動公園多目的グラウンドを含めた市内の26体育施設の指定管理と直営4施設の維持管理を行います。

財源内訳：市の負担額 1億2,530万円

担当課：スポーツ振興課

## 重度障害者タクシー料金等助成事業

737万円



重度障がい者が社会活動等に参加するために自動車燃料費またはタクシー等乗車料金、原動機付自転車燃料費、伊賀鉄道乗車券の一部を助成します。

財源内訳：市の負担額 737万円

担当課：障がい福祉課

## 伊賀鉄道活性化促進事業

3億9,611万円



車両や駅舎、線路などの鉄道施設や設備の維持管理等を行うとともに、伊賀鉄道株式会社に対して運営費の補助を行い、市民の移動手段の確保を図ります。

財源内訳：国の負担額 6,932万円

県の負担額 3,466万円

市の負担額（市債を含む） 2億9,213万円

担当課：交通政策課

# 伊賀市の財政状況

## ①家計簿

伊賀市の予算（一般会計約 447 億 3,000 万円）を1ヶ月の家計にたとえると・・・・・・・・

予算総額 447 億 3,000 万円



月収 300,800 円の家庭とします。

歳入	
市税・国からの交付金など	300 億 8,000 万円
国・県支出金	75 億 9,000 万円
基金繰入金	15 億 9,000 万円
市債	54 億 7,000 万円
歳出	
人件費	88 億 6,000 万円
投資的経費	50 億 6,000 万円
扶助費	75 億 6,000 万円
公債費	63 億 5,000 万円
積立金	6 億 5,000 万円
補助費等	52 億 5,000 万円
物件費など	110 億 0,000 万円

収入	(447,300 円)
月収（給料など）	300,800 円
親からの支援など	75,900 円
預貯金の取り崩し※	15,900 円
借金※	54,700 円
支出	(447,300 円)
食費など	88,600 円
自宅の増改築・修繕費	50,600 円
医療費	75,600 円
借金の返済	63,500 円
貯金	6,500 円
各種会費	52,500 円
光熱費・交際費など	110,000 円

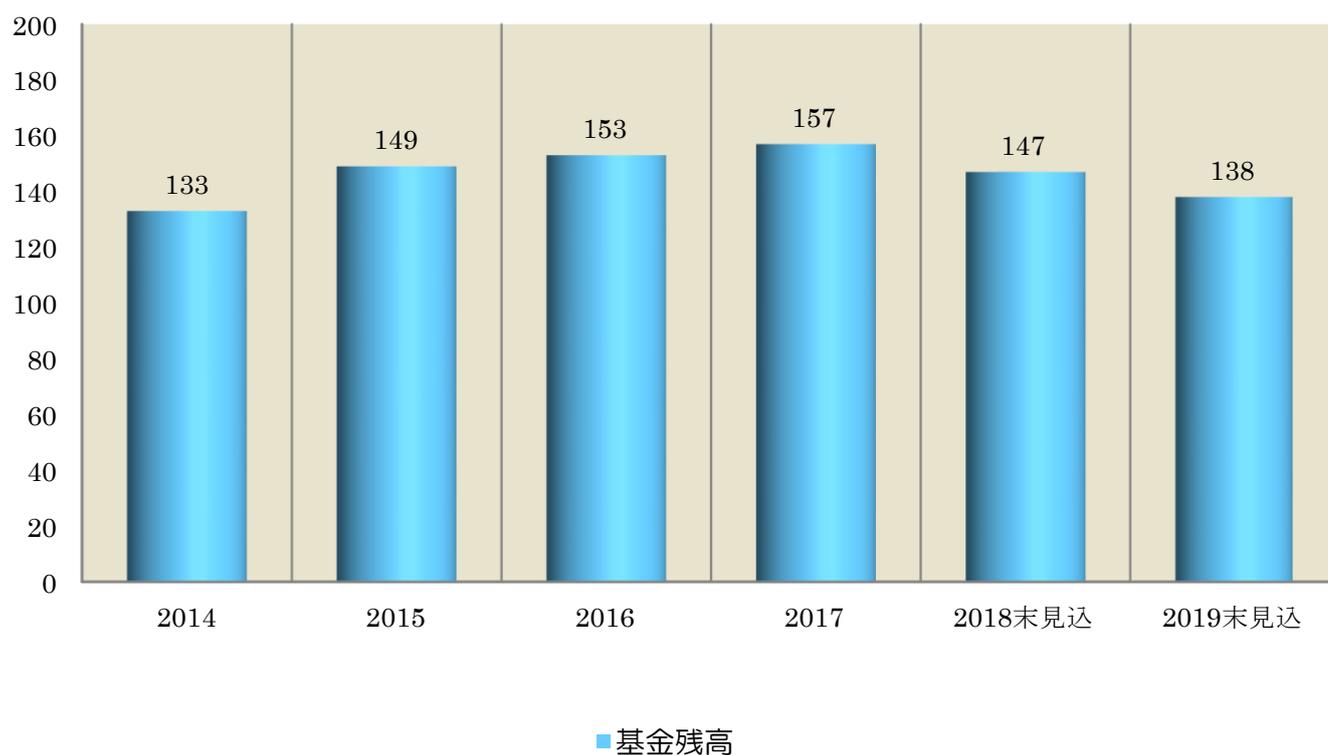
1ヶ月の支出額約 447,300 円をまかなうのに、月収に親からの支援などを加えても、なお不足する額※（7 万 600 円）を借金や預貯金の取り崩しに頼っていることとなります。

## ②貯金

基金とは…家計でいうと貯金のようなもので、市の貯金といえます。  
地方公共団体は基金を積み立てることが条例で定められています。

基礎的なサービスを行う一般会計では  
2019（令和元）年度末の基金残高の見込み額は およそ138億円  
○伊賀市の人口は およそ92,000人として計算すると…  
市民一人あたり およそ15万円の貯金となります。

年度別基金残高(単位：億円)



### ③借金

市債とは…市の借金のことです。

市債は、長期間使われる道路や公園などの公共施設の整備のために使っています。

現在の市民の税金で一度にまかなうよりも、お金を借りて長期に渡り返済するほうが、将来にわたって公共施設を利用するすべての世代の人が負担することになるため、世代間の公平性を図ることができます。

基礎的なサービスを行う一般会計では

2019（令和元）年度末の市債残高の見込み額は およそ575億円

○伊賀市の人口は およそ92,000人として計算すると…

市民一人あたり およそ62万円の借金となります。

年度別市債残高(単位：億円)

